

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

| 科目名 | | 科目コード | 単位数 | 開講期 |
|---------------------------------|---------|--|------|------|
| 知的財産契約特論 | | Z 115 | 1 単位 | 3 学期 |
| Intellectual Property Contracts | | | | |
| 科目分野 | | 課程領域 | | |
| 知的財産戦略 | | 知的財産マネジメント専門科目 (~2019年度入学生はイノベーションマネジメント共通科目) | | |
| 担当教員名 | メールアドレス | 連絡方法 / オフィスアワー | | |
| 鮫島正洋 | - | メールアポイントにて随時 | | |

関連している科目(履修推奨科目)

特許・実用新案法系科目 民法特論

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

本講義においては、知的財産権の活用において欠かせない、特許ライセンス契約に関する法理及びその実務的なポイントについて理解することを主眼とする。

講義の構成は以下のとおりとする。

- ① 契約論を支える民法
- ② 契約総論(契約書の考え方)
- ③ 特許ライセンス契約(項目ごとにポイントを抽出し、論じる)
- ④ いくつかの論点(公正取引委員会のガイドライン、当然対抗制度など)
- ⑤ 他の類型の技術契約(PoC契約、共同開発契約など)の解説: 経済産業省が発表している「モデル契約」を素材とする。

到達(習得)目標

ライセンス契約に関する法理及びその実務的なポイントについて理解する

受講対象者

知的財産担当者(特に契約・係争系)、法務部担当者、弁理士、特許技術者、経営企画担当者、知財に興味のある学生、ベンチャー企業の社員、大学知財本部、TLO関係者、及び将来知財流通に携わりたいことを希望する人

業務責任範囲: 法務・知的財産部門、特許ライセンスを前提とした企業戦略の構築、特許評価を前提とした知財戦略の構築

履修上の注意事項やアドバイス

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

| 知識領域 (Y軸) | | ヒューマンパワー (Z軸) | | 思考プロセス (X軸) | |
|--------------------|---|----------------|---|--------------|---|
| Y1: 基盤法令・テクノロジー | ○ | Z1: 問題発見力 | ○ | X1: 企画 | ○ |
| Y2: 応用法令・実務・テクノロジー | | Z2: 独創力 | | X2: 構想 | ○ |
| Y3: グローバル法令・実務 | | Z3: 問題解決力 | ○ | X3: 調査・分析 | ○ |
| Y4: マネジメント | | Z4: プレゼンテーション力 | | X4: 設計・開発 | |
| Y5: 戦略立案 | | Z5: 変革推進力 | | X5: 変革 | |
| Y6: 標準化 | ○ | Z6: コミュニケーション力 | | X6: 導入・運用 | |
| | | Z7: リーダーシップ力 | | X7: 評価・検証 | |
| | | Z8: ネゴシエーション力 | | X8: リーガルマインド | |
| | | Z9: オーナーシップ力 | | X9: ライフサイクル | |

プラクティカム

| | イベント / ケース | 教育技法 | マテリアル / ツール |
|---|------------------------------|------|--------------|
| 1 | 特許ライセンス契約の基礎となる法律(民法・契約論) | 講義形式 | 資料を自作/pptによる |
| 2 | 特許ライセンス契約の基礎となる法律(民法・契約論) | 同上 | 同上 |
| 3 | 契約書概論(契約書作成の考え方、実務について) | 同上 | 同上 |
| 4 | 特許ライセンス契約の戦略論 | 同上 | 同上 |
| 5 | 特許ライセンス契約の戦略論+論点(公取ガイドラインなど) | 同上 | 同上 |
| 6 | 他の類型の技術契約の解説 | 同上 | 同上 |

| 評価の方法 | | |
|-------------|-------|---|
| (総合評価項目と割合) | 評価の要点 | |
| 出席・授業貢献度 | 10% | 毎回、事務室より出席簿を準備する。授業貢献度においては、授業内における討議やディスカッションにおける適切な質疑内容を評価する。最終レポートは、授業全体の理解度を確認する。 |
| レポート | 90% | |
| 合計 | 100% | |

| テキスト・参考図書など | | 備考 |
|--|-----------------------|----|
| ※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください | | |
| テキスト (購入が必要) | テキストに該当する資料は、授業時に配布する | |
| 参考図書 (購入は任意・講師推奨) | | |
| 参考URL | | |
| 適宜紹介予定 | | |

| コマ | 学習内容 | 事前準備・課題 | 担当者 | 時間 |
|----|---|---------|-----|-----|
| 1 | 民法概論Ⅰ (特許ライセンス契約に関連の深い部分＝契約法の基礎) | | 鮫島 | 90分 |
| | イベント | | | |
| 2 | 「特許ライセンスの論点に関する裁判例等の紹介」 | | 鮫島 | 90分 |
| | イベント | | | |
| 3 | 契約書作成の考え方と実務 | | 鮫島 | 90分 |
| | イベント | | | |
| 4 | 特許ライセンス契約の戦略／戦術論 (特許ライセンス契約の条項ごとに解説) | | 鮫島 | 90分 |
| | イベント | | | |
| 5 | 特許ライセンス契約の戦略／戦術論 (特許ライセンス契約の条項ごとに解説) | | 鮫島 | 90分 |
| | イベント | | | |
| 6 | 公正取引委員会ガイドライン等(最近の論点) | | 鮫島 | 90分 |
| | イベント | | | |
| 7 | 他の種類の技術契約の解説 | | 鮫島 | 90分 |
| | イベント | | | |
| 8 | 知財戦略とマネジメントに関する総論を講義する。 | | 鮫島 | 90分 |
| | イベント | | | |

- ※ 講義日程は、学事ポータル上の講義日程表をご参照ください。
- ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
- ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。